

## 屋久島生態系モニタリング

② 自然休養林の利用者数の実態  
はじめに屋久杉ランドの利用状況についてふれる。協力を得ることで、利用者数を把握できるような推移をみた。93年度には51,891人の利用者であったが、96年度には7万人を越え、以後年度の85,404人をピークに7~8万人で推移している。

96年5月以降、島内も整備された。1つは、協力の集中により、96年度の休養林の利用者数は、99、00年度と比較すると、それぞれ、32,174人、40,893人と30%の増加となっている。

家電リサイクル法の施行などにより特定の家電製品の部品をリサイクルし有効利用する施策が始まっています。国有林内をパトロールすると道路脇や林内へのゴミの不法投棄が見られます。また、ヤクスギ土埋木は島の配慮をして、一個体三〇本程度、総数四千五百本の接ぎ穂を採取することとなりま

林木育種協会に委託して進められている「ヤクタネゴヨウ増殖・復元緊急対策事業」については、五カ年計画の初年度である十二年度の接ぎ木用台木の養苗管理に続き、今年度は接ぎ木用穂木の採取を一月下旬頃行うことになっていきます。

ウセンゴヨウマツの二種となつていきます。穂木の採取にあたっては、ヤクタネゴヨウが極めて急峻な箇所、稜線部の岸壁等に張りつくように自生していることなどから、全国でも木登り名人といわれている熟練者が行うことになっていきます。また、種子島地区及び屋久島の三地区から、その地区の生存個体数による緊急性や遺伝

ヤクタネゴヨウ増殖・復元緊急対策事業 (中間報告)

本事業で最も危険を伴う穂木の採取を予定しています。採穂に当たっては林業特殊技術者に依頼して穂木の採取をすることになっています。

## ヤクスギランドで森林教室

去る十月十日午後、屋久町教育委員会の要請により、当センター及び本署から講師を派遣し、ヤクスギランド(自然休養林)で「屋久町森林教室」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、屋久町内の小学五年生六〇名を対象に、最初に管理棟前広場において署長より屋久島及びヤクスギランド全般について説明を受けた後、五班に分か

その後穂木は一時低温保存し、三月中旬までに接ぎ木されることとなりますが、当センターとしても、健全なヤクタネゴヨウの増殖用苗木が生産されるよう協力してまいります。

## ゴミの不法投棄! ヤクスギの不法伐採!

の重要工芸資材ですが、チェーンソーの伐り跡が生々しい切り株を見ることがあります。これらの行為はいまでもなく法律や条令により罰せられる財産を預かっている立場から、関係機関とも連携のうえ、パトロールを強化することとしています。

## 屋久島の植物



ヤクシマダ イモンジソウ ゆきのした科

屋久島の固有種。標高一〇〇m以上の湿った岩面に生育。屋久島以外に生育するイモンジソウの矮小種。花期九~一〇月。長い花弁と、短い花弁で「大」の文字になることから。「人」の時を構成するジンジソウという種もある。

## 弥生杉樹皮剥かれる

十月に入り白谷雲水峡内の弥生杉の樹皮の一部が剥がれているのが発見されました。平成十一年十二月に続き二回目の被害です。

## お知らせ

誰が何の目的で剥いだのかは不明ですが、こうした悪質な行為は法律に抵触することもさることながら、社会道徳として許せない行為であり残念な思いです。今後、当センター及び本署では、著名杉だけでなく森林全体の被害や盗伐等悪質な行為に対し厳しく対処したいと考えており、再発防止に努めて行きますので皆様の御協力を御願います。

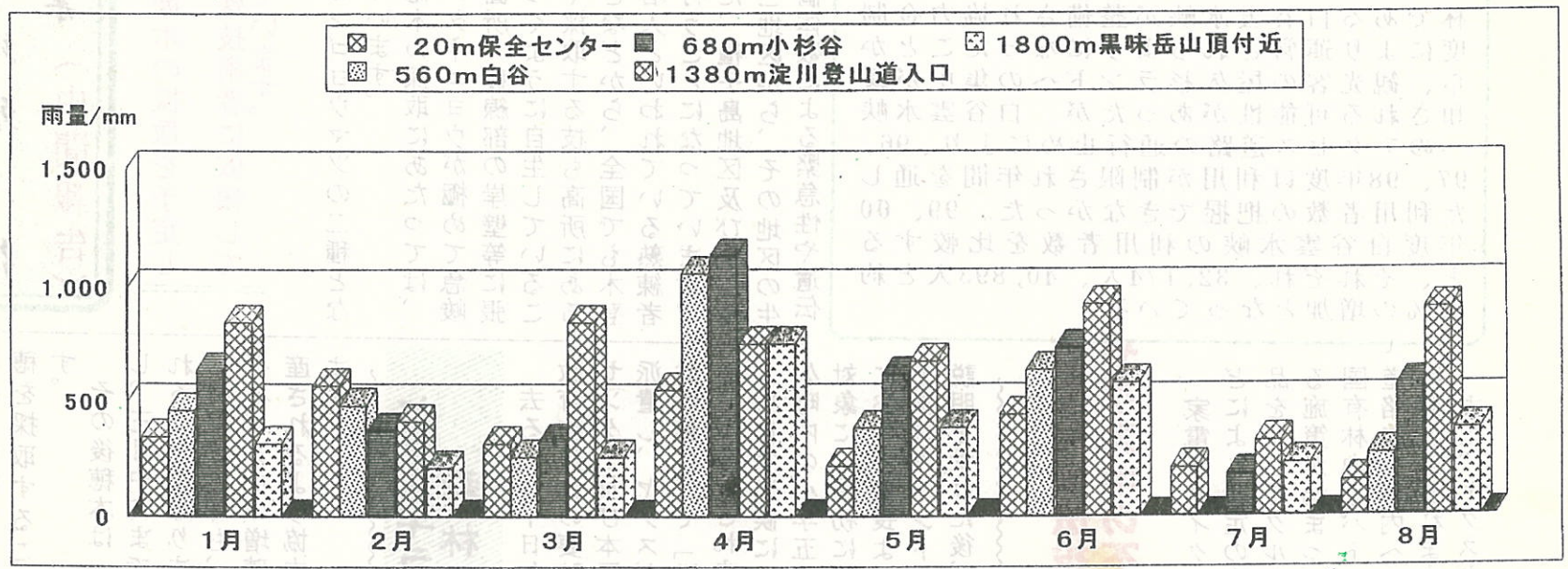
(西)

## 平成12、13年度地点別雨量一覧表

雨量計設置箇所	標高	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
保全センター	20m	346.0	571.0	318.0	552.0	229.0	440.0	217.5	156.5	2,830.0
宮之浦林道	500m	415.5	265.5	327.0	660.5	222.5	627.0	—	296.5	2,814.5
白谷	560m	461.0	480.0	264.5	1,053.5	384.0	634.0	—	274.5	3,551.5
小杉谷	680m	632.5	379.5	331.5	1,131.0	616.0	734.0	183.5	568.0	4,576.0
大川林道	1020m	245.0	285.5	366.0	750.0	406.0	703.5	283.5	795.5	3,835.0
淀川登山道入口	1380m	842.0	415.5	843.5	750.0	676.5	920.0	328.5	901.0	5,677.0
黒味岳山頂付近	1800m	315.5	210.5	267.0	750.0	386.0	582.0	233.0	379.0	3,123.0
永田カンカケ岳付近	730m	199.0	123.5	187.0	410.5	192.0	506.0	175.0	136.5	1,929.5

宮之浦・白谷観測点7月雨量は機器故障により欠測

## 標高別雨量比較表



この表から、例年どおり白谷、小杉谷、淀川登山道入口（標高560～1380m）の比較的標高の高い箇所での雨量が多くなっているが、2月は標高の低い箇所が多くなっていることが分かります。また、4月は東シナ海で発生した低気圧の影響により、29日の1日で160～320mmの雨量が観測される等、比較的雨の多い月となりました。

## 愛子岳の掘削跡の現状回復

先月の洋上アルプスでお知らせしました、愛子岳山頂の不振な穴につきましては、環境省によって、土石で埋め戻すと共に、近くに掘り返してあった植生（アセビ・ツツジ等）も元通りに復元されました。

何を目的にしたものか解りませんが、こうした心無い行為を見かけられた方は、当保全センターや環境省等にお知らせ下さい。また、本紙上に掲載しているとおりにゴミの不法投棄や弥生杉への悪戯も発生しています。